

## K. O. 英語英文学科・3年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

高校時代から漠然と『どこかに長期で留学したい』という考えがありました。子供の頃から海外に行くことが多く、その場で出会った人とコミュニケーションをとることが楽しかったからだと思います。そこで同志社女子大学に入学した時に、この協定留学の制度を知りました。金銭面でも、私は休学して留学することが厳しかったのでこの制度はとても魅力的でした。元からアジア圏内に旅行することが好きだったので、アジア圏の大学に出願しようと考えていました。ですが、英語が流暢な知人に相談した際に、英語が話せるようになりたいのであれば英語圏が絶対と言われ英語圏の大学を視野に入れるようになりました。英語圏の大学は旅行でもなかなか行けない国ばかりで、良い経験になると思い、英語圏に絞りました。私はイギリスかカナダで迷ったのですが、多国籍で治安がよいカナダを選びました。候補大学の中でも、私が留学した University of Victoria はここずっと同志社女子大学から派遣された人がいなかったのも、挑戦したいと思いました。そして、その大学には日本での英語教師を目指す人も多く、Asian Studies といったアジア圏外の人から見たアジア各国について学べる授業が充実していました。こういった理由から University of Victoria に留学することを目指しました。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

まず、TOEFL と IELTS どちらが解きやすいかを学校の授業で使っていた教材（TOEFL 中級の授業を取っていたので）と自分で買った IELTS 公式問題集を使って分析しました。自分には IELTS の方が点数が伸びやすいと考えたので、ひたすら公式問題集を使いました。時間があればわからない単語は英英辞典で調べると語彙も増えて良いと思います。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

University of Victoria からの通学許可書などの書類が届いてからでないといざの申請ができなかったため、1月頃から始めました。書類が届くのはギリギリで遅くて、少し焦りました。アメリカのビザ申請と違って大使館に行って面接がないので、1、2週間ほどで取得できます。ただし、スキャンしなければいけない書類が多く、終わりかけの頃に Windows からでしか申請できないと知り、大変でした。Mac のパソコンは使えず、Windows のパソコンからしかできないので注意するべきだと思います。銀行の口座開設や必要なものを揃えることは2か月前から準備しました。初めの ESL ではクラス分けテストがあると聞いていたので、TOEFL-ITP 用と TOEIC の問題集を使っていました。とても難

しいわけではなかったのですが、単語のレベルもこの問題集で十分だと思います。リスニングで耳を慣らすことで、突然英語を話す環境に行ってもあたふたしないので、英語の音声は、映画や TED からでも積極的に聴くことをお勧めします。

#### ④ 現地到着後

空港にはホストファミリーが来てくれました。ESL からだと、必ずホストファミリーが迎えに来てくれます。ただ、周りにはホストファミリーと連絡が取れなくて焦っていた人もいたので、そうならない為にも連絡は出発前にもこまめに取ることをお勧めします。ホストファミリーではなく、寮や民泊でも、2,000円程で目的地まで運んでくれるシャトルバスが出ています。とても便利でした。オリエンテーションの日は、ルームメイトと一緒に行きました。ESL のオリエンテーションは語学学校のキャンパスであります。バスターミナルのすぐ前に、大学の本屋があります。そこに ESL のスタッフがいるので迷うことなくオリエンテーションを受けることができました。大学正規授業前のオリエンテーションも、私はキャンパスの場所がわかっていたので、苦労はしませんでした。けれど、初めての人は迷ってしまうかもしれないので、前日に来て場所を確認するといいいと思います。諸手続きもスタッフの人に聞けば協力してくれたので特に苦労したことはありません。

#### ⑤ 語学研修期間

##### ◆ 語学研修先の施設・環境について

ESL ではクラスが午前クラス、午後クラスに分かれていて、指定をすることはできませんでした。そしてそれぞれ7クラス程レベル別に分けられました。私は大学の授業もあったので Academic コースを選択しました。クラスは490で、私以外日本人はいませんでした。前から ESL に在籍していた人が多く、初めの頃はあまり英語も話せなかったので落ち込んでいました。他のクラスは日本人が多く、自分だけ外国人だらけの環境で得をした気分になります。けれど、少し疎外感も感じて初めの頃は苦労しました。けれど、ESL にはイベントがたくさんあるので友達心配せずともたくさんできます。施設も広くて、発音矯正のクラスや Writing 添削をしてくれる教室もあるのでとても充実しています。

##### ◆ 授業内容、課題、試験

Academic クラスは他のクラスより課題やプレゼンテーションも多く、最初はとても大変です。けれどこなしていくうちに慣れていくし、プレゼンテーションにおいては、楽しくなりました。人前で発表することも苦にならず、最後は良い評価をもらえることが多くなり、自信ができました。General コースを受けるよりも、内容は難しいかもしれませんが、その分倍で力がつくのでオススメです。試験は speaking、reading、writing に分かれます。Reading は特に難しく最後の評価もぎりぎりだったのでよく勉強すべきだったと思いまし

た。先生達に質問をすればたくさん教えてもらえるので、とても良い環境でした。

## ⑥ 正規科目履修期間

### ◆ 大学の施設・環境について

図書館が23時まで開いていたので、課題が多い日は残って友達とよく勉強していました。キャンパスがとても広くて移動時間や休み時間が短いので少し大変でした。食堂やカフェは少なく、高いです。校庭が広くて芝生の上で友達とご飯を食べたり、休んだり快適でした。

### ◆ 履修科目

#### ・ Foundation of Linguistics I

ゼミでは音声学をとろうと考えていたので、基礎として学習しました。音素表や統語論など暗記することが多かったのですが、単位は取得しやすいです。

#### ・ Language and Thought

音声学ゼミに単位互換するために取得しました。言語が違くと、人間の考え方は変わるのかというテーマのもとで論文を読んだりしました。毎週テストやレポートがあり、内容理解も難しく、ネイティブの友達が必要かもしれません。

#### ・ Modern Japanese Culture

教授が面白いと聞いたので取得しました。日本のアニメや写真、動画ニュースを見て、外国人の視点から見た日本という内容でした。発言することも多く楽しいです。

### ◆ 授業、レポート、定期試験

レポートを添削してくれる Writing センターがあるので積極的に使うべきだと思います。Language and Thought の授業のレポートは毎回の論文がとても長く難しいです。どの教科も3000 words ほどのエッセイ提出が課せられるので大変です。大変ですが、積極的にカナダ人の友達を作りノートを見せてもらったり、補修をしてもらったりとても助かりました。これもまた留学の醍醐味だと考えます。定期試験は授業の日にちとは限らず場所も違うので必ずチェックするべきです。2時間ほどで終わります。どの教科も定期試験の評価が高いので必死に勉強するべきです。

## ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

ESL 時代に時間がたくさんあるのでボランティア活動などに参加しました。よくチャリティーマラソンのスタッフが募集されていたので、そういったところのフードサーバーをしました。英語が話せるいい機会です。大学では Japanese club や Japanese Conversation Club に入りました。英語を教わったり、日本語を教えたり、ネイティブの友達が増えるので良いです。

### ⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

寮にもできたのですが、抽選でとても厳しく、食器なども揃えなければならなかったのも、家にいながらも英語が使えるホストファミリーに ESL を卒業してからも継続することにしました。ホストファミリーの都合により、長期で住むことができませんでしたが、ESL の 2 階にホストファミリーを探してくれるセンターがあり、相談もできました。基本、買ってほしい食料は頼めば買ってくれます。食事は、初めは簡素でつらかったです。慣れれば大丈夫です。

### ⑨ 長期休暇の過ごし方

友達が日本から来てくれるとのことで、アメリカのロサンゼルスに観光に行きました。日本から行くより安価で済むし、せっかくの留学期間ということで1週間ほど旅行しました。料金の払い方（クレジットカード）やチップの制度がカナダよりはっきりしていて、最初は戸惑いました。また、シアトルに同じ協定留学で派遣された友達に会いに行きました。どちらの都市もカナダでは味わえない楽しさがあり、日にちが足りないくらいでした。他にも、正規留学中の Reading Break でも日本から先輩がビクトリアに遊びに来てくれました。久しぶりに会った先輩に、自分が英語を話している姿をみてもらい、成長ぶりを見てもらえて良い機会となりました。大学の友達を紹介して、みんなでパブに行ったりもしました。共通の友人がバンクーバーにいたのでバンクーバーで2泊して遊びに行きました。バンクーバー、シアトルは飛行機を使わなくてもフェリーで行けるのでとても便利です。

### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

ボストンキャリアフォーラムに参加しました。参加日2か月前から、興味があった企業にエントリーを進めることで、スカイプ面接が行われました。ES 作りの練習や面接の練習になるので、忙しくなりますが、とても貴重な経験になり、参加するべきだと思います。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学先で出会った友達と仲良くなって、遠出をして、お出かけしたことは今でも楽しかった思い出です。英語を使ってこんなに盛り上げられるのかという高揚感が今でも忘れられません。学業の面で、先生にプレゼンテーションや自分の英語について褒められた時も幸せで、毎回達成感がありました。他にも、日本に興味があるカナダ人やアメリカ人と関わり、交流が深まった時も思い出深いです。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

語学学校中、自分だけが外国人に囲まれていたことはとてもよいことでしたが、他のクラ

スの日本人の子達が仲良くしているのをみて、たまに胸が苦しくなりました。違うクラスの日本人の子達では、すでにコミュニティーができている一方で、自分は第二言語を使い一から頑張ってコミュニティーを作るのは大変でした。ですが、英語も上達し、乗り越えた後の幸せもありました。ホストファミリーとは、初めの頃、あまり英語がうまく話せなくてコミュニケーションをとることを避けてしまうこともありました。大学の授業でも、現地の女子学生は冷たいことが多く、話しかけて反応をみて落ち込むこともありました。けれど、これら全てを乗り越えていなければ留学した達成感は得られなかったと思います。今となっては自分を強くしてくれた素敵な思い出です。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

まず、毎回の食事が日本食とは全く違いました。日本食のように調味料を使ったごはんなどがなく、素材をそのまま楽しむようで物足りなさを感じました。お昼はリンゴを丸ごと噛り付いて食べている人が多くて驚きました。衛生面では、靴を脱がないで暮らす家での生活が初めは慣れませんでした。公共のトイレも隙間が多くてあまり落ち着きません。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点として、writing center など留学生のための個別相談が充実していました。スポーツジムやプールもあり、図書館も夜遅くまで開いています。クラブ活動の数も多く、ネイティブの友達を作る機会が沢山あります。悪かった点は、日本より食べ物など、他にも全体的にお金がかかったことです。なるべく節約して生活していました。そして、交通の便があまり良くありません。ビクトリアには、バスしか公共交通機関がないし、時間通りに来ることも少ないです。

### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

ノートパソコンは必需品でした。他には、私は花粉症だったので、アレルギーの薬を60日分持って行きました。アレルギーが発症したので役に立ちました。カナダまで行くのは、とても長旅なので、首につけるU字のクッションも使いました。

### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

以前は、英語を話すことに恥ずかしさを感じていました。初めの頃もゆっくり話して、積極的に話しかけたりはしませんでした。授業でも、早くて聞き取れないことが多かったです。けれど、語学学校のおかげで、ネイティブの人に話しかけることにためらいもなくなりました。正規授業が始まってからも、主体的に行動することが多くなりました。日常会話や学校の授業も、ほとんど聞き取れるようになり、発言することもありました。TOEIC

テストを帰国後に挑戦したのですが、リスニングはほぼ満点で、800点以上を取得することができました。留学を通して、物事を冷静に判断することができるようになり、積極的に他人に働きかけて、主体的に行動できるようになったと思います。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は全て楽しいことしかないわけではありません。苦しいこと、大変なこと、それを乗り越えることも留学だと思います。その分幸せだと思えることもたくさんあります。留学先でできた友達は、自分にとって影響を与えてくれる人にもなります。そして、留学するなら短期ではなく長期をお勧めします。長期で海外留学することで、自分の価値観など考え方が大いに変わり、とても良い経験になること間違いなしです。是非、アクションを起こしてみてください。

### IV. 将来の目標

#### ① 今後の進路、将来の目標・夢

今後は自分の英語力を活かして、海外の人ともお仕事をさせてもらえる企業に就職しようと考えています。留学先で身についた英語力によって、取得できる資格も増えたので挑戦しようと思います。いつか、もう一度、ビクトリアに観光に来られたらいいなと考えています。

## V. 写真



語学学校のクラスメイト、違うクラスの友人、ルームメイトとビクトリアで有名なマウントダグラスにハイキングに行きました。中国人の友達が素敵な写真をたくさん撮ってくれました。天気にも恵まれて、たくさんはしゃいでよい1日でした。



違うクラスの友達、ESL ボランティアスタッフと一緒にダウンタウンの近くのフィッシャーマンズワーフに行って、カヌー体験をしました。水上タクシーにも乗りました。その場所は水上住宅で有名でとても可愛い景観です。



ホストファミリーとルームメイトと愛犬ジャバとソルトスプリングアイランドに旅行に行きました。毎週日曜日にはお祭りがあり、たくさんの出店がありました。車で色々なところを散策しましたが、最期にマウントマックスウェルにハイキングに行き、記念となる素晴らしい写真が撮れました。



Reading Break 期間に行ったバンクーバーのガスタウンです。11月は雨季ですが、綺麗な写真が撮れるので安心してください。外国人の友達と旅行するのもよいですが、久々に会った日本の友人とバンクーバーでお出かけするのも新鮮で楽しかったです。



ビクトリアの観光名所の1つ、パラメントビルディングです。クリスマスの時期だったので、ライトアップがクリスマス仕様になっていてとても可愛らしかったです。留学最終日の記念として、学校でお世話になった友達と思い出話を話しながら最後に行った思い出深い場所です。